

## 読者からの質問「不妊治療の最先端医療」についてお答えいただきます②

### 体外受精の必須知識⑤ 「体外受精（IVF）成功のために」



過去の記事は  
コチラから読めます

**Q** 夫51歳、妻39歳、妊活歴2年の夫婦です。妊活は仕事との両立のために集中して継続できず、中途半端になってしまい妊娠には至りませんでした。そしてこの度、会社の理解を得て休業を取ることができましたが、完全休業を取るとは難しく、それでも今までよりは通院の許容範囲が広がりました。主治医によると「年齢から言うと体外受精がベストな治療」とのことです。体外受精に専念することにしたのですが、体外受精にもさまざまな種類があると聞き、どのような流れを進めていくのが良いのでしょうか。お教えください。

**A** ネット上では体外受精で多くの良好な卵子を得るために、「ロング法」や「シヨート法」などがよく掲載されています。これは排卵誘発剤の方法や使用期間によって区別したもので、連日注射を8〜10回ほど必要とします。そのため、ほとんどの人が体外受精に至るまでに大変な労力が必要と感ずてしまうようです。しかし現在では、個々の体質や卵巣機能などに合わせた

①薬物等を使用しない**自然法**  
②サブリンメントや漢方の使用のみ（ホルモン剤を使用しない）の**準自然法**  
③**クロミッド**という内服の排卵誘発剤のみを使用  
④**クロミッド**（時々）**排卵誘発剤**を使用（〇）**排卵誘発剤**隔日使用  
⑤**クロミッド**＋**連日注射**を使用  
⑥**脳下垂体ホルモン抑制剤**である**点鼻薬**（スプレキミアなど）や**注射**＋**排卵誘発剤**の**連日注射**を使用

### 【取材協力】



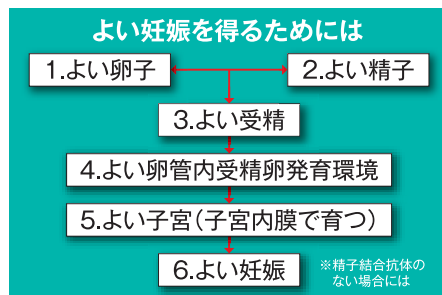
小埜 清 小ばなわ きよし 先生  
医療法人 小埜医院  
つくばARTクリニック 理事長

昭和46年茨城県立水戸第一高等学校卒業、昭和52年北里大学医学部卒業、同医学部産婦人科教室に入局。53年慶応大学医学部産婦人科教室を経て、57年オーストラリア・モナッシュ大学で不妊症を研究。60年慶応大学医学部産婦人科教室・飯塚理八教授のもとで人工授精、体外受精のための精子調整法、パーコール法などについて研究。現在、不妊症治療、「新酸・アルカリ法」による男女生み分け治療のほか、ホルモン補充治療法（HRT）や漢方を用いた更年期障害の治療にも研鑽を積んでいる。



- 【著書】  
●「男の子と女の子を産み分ける」（新星出版社）  
●「男性不妊を治す」（新星出版社）  
●「更年期とのつきあいかた」（新星出版社）  
【ビデオ】  
●「いのち」（当院オリジナル版）

それぞれに特徴や適性があります。  
①②：体に優しく副作用がほとんどないものの、採卵で卵子が二つのみとなることが多く、凍結保存等ができにくいいため、妊娠のチャンスが1回限りになってしまふ可能性があります。  
20代で排卵誘発剤による過刺激が起きやすい人や、40代以上で卵巣機能の低下が甚だしい人に向いています。  
③④：広い年齢層が受けられる最もポピュラーな治療で、過刺激にならない人や卵巣機能の低下があまり見られない人に向いています。  
⑤⑥：⑤は体外受精の採卵手術をできる限り少なく、多くの胚を凍結保存して妊娠の可能性を広げたい人（卵巣機能が低い人は難しい）、⑥は排卵誘発剤使用中に排卵をコントロールできず、自然に排卵されてしまいがちの人にしています。  
費用については**体外受精の技術料**は①②③④⑤⑥どれでも一定で、大体30〜40万です。（助成金あり）  
それに**使用する薬や注射の値**



段や回数、必要なホルモン検査や診療料が加算されていきます。どの治療法を使用するかは、信頼できる主治医が提案してくれるでしょうから、よく話し合ってください。  
次号は治療法についてさらに細かくお伝えします。



医療法人

## 小埜医院

こばなわいん

理事長 小埜 清

〒311-3435 小美玉市田木谷169-3

☎0299-58-3185

http://www.ivf-ibaraki.or.jp

Mail:kobanawa@ric.hi-ho.ne.jp

- ◆診療科目 産婦人科（不妊治療）  
内科  
小児科  
泌尿器科
- ◆診療時間 月・火・木・金・土 9:00~17:00  
第2・4日 9:00~12:00
- ◆休診日 水曜・第1・3日曜・祝日

予約受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
8:30~11:30	○	○	休	○	○	○	△ 第1・3日曜
14:30~16:30	○	○	休	○	○	○	休

\*初診の患者様については、午前中は11時まで、午後は16時までの受付となります。



車でご来院の方  
常磐自動車道「千代田石岡IC」から、国道6号線を水戸方面に向かい、「山王台」交差点を国道355号線へ右折。千代田石岡ICから約10kmです。

電車でご来院の方  
JR常磐線石岡駅からタクシーで約15分

休んだり、考えたりしても状況は変わりません。要領よく病院を利用して妊娠しましょう。